



## アットホームで地域に根付いた医療を支えるBMLの 電子カルテシステムQualis Cloud（クオリスクラウド）

内科

### ●おだ内科様（埼玉県蓮田市）



JR宇都宮線蓮田駅東口より徒歩10分、車で5分ほどの住宅地に「おだ内科」があります。同クリニックはこの地で20年ほど「アットホームで、地域に根付いた医療」を展開しており、理念を同じくしている島芳憲院長が2019年に事業継承し、2020年5月にリニューアルオープンしました。

同クリニックではスマートクライアント方式のクラウド型電子カルテシステム「Qualis Cloud（クオリスクラウド）」を導入しています。この電子カルテシステムは、BMLが開発した新製品です。

『「Qualis Cloud（クオリスクラウド）」のメリットは、コストパフォーマンス、検査との連携、サポートセンターの対応の速さです。初期費用が安い上に、自分で何もかもしなければいけない一般的なクラウド型電子カルテと違い、サポートが手厚いのにはランニングコストも妥当と言えます。検査のオーダーから結果のカルテ画面反映までオンラインで行えることも大きく、これによって今まで伝票で行っていた作業がなくなりました。薬歴機能は良く使っていますがグラフ化されていて見やすく、分かりやすいです。

また、困った時にサポートセンターが素早く対応してくれるおかげでスタッフの業務時間も短縮できています』（島院長）

『この2年間で周辺住民の方々と良好な関係が築けています。これからも地域医療に特化し、生活習慣病の予防に力を入れていきたいです』とお考えの島院長の医療を支えるのが、「Qualis Cloud（クオリスクラウド）」です。

『文藝春秋』2022年7月号